

減法

正負の数と減法

ひき算のことを**減法**といい、ひき算の計算結果のことを**差**という

正負の数の減法

-(ひかれる数) - (ひく数)

正の数と負の数は**反対の性質**

-**ひく数の符号を変えて、たすことと同じ**

-絶対値が等しく、符号が同じ2数の差は**0**

<例>

(+8)をひくことは、
(-8)をたすことと同じ

(-8)をひくことは、
(+8)をたすことと同じ

$$\begin{aligned} (+6) - (+8) \\ &= (+6) + (-8) \\ &= -2 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (+6) - (-8) \\ &= (+6) + (+8) \\ &= +14 \end{aligned}$$

<確認問題>

次の計算をせよ。

(1) $(+4) - (+8)$

(5) $(-18) - (-26)$

(2) $(+9) - (+7)$

(6) $(-66) - (-77)$

(3) $(-6) - (-6)$

(7) $(-21) - (-19)$

(4) $(-7) - (-8)$

(8) $(-328) - (-199)$

減法

正負の数と減法

ひき算のことを**減法**といい、ひき算の計算結果のことを**差**という

正負の数の減法

-(ひかれる数) - (ひく数)

正の数と負の数は**反対の性質**

-**ひく数の符号を変えて、たすことと同じ**

-絶対値が等しく、符号が同じ2数の差は**0**

<例>

(+8)をひくことは、
(-8)をたすことと同じ

(-8)をひくことは、
(+8)をたすことと同じ

$$\begin{aligned} (+6) - (+8) \\ &= (+6) + (-8) \\ &= -2 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (+6) - (-8) \\ &= (+6) + (+8) \\ &= +14 \end{aligned}$$

<確認問題>

次の計算をせよ。

(1) $(+4) - (+8)$

$$\begin{aligned} (+4) - (+8) \\ &= (+4) + (-8) \\ &= -4 \end{aligned}$$

(2) $(+9) - (+7)$

$$\begin{aligned} (+9) - (+7) \\ &= (+9) + (-7) \\ &= +2 \end{aligned}$$

(3) $(-6) - (-6)$

$$\begin{aligned} (-6) - (-6) \\ &= (-6) + (+6) \\ &= 0 \end{aligned}$$

(4) $(-7) - (-8)$

$$\begin{aligned} (-7) - (-8) \\ &= (-7) + (+8) \\ &= +1 \end{aligned}$$

(5) $(-18) - (-26)$

$$\begin{aligned} (-18) - (-26) \\ &= (-18) + (+26) \\ &= +8 \end{aligned}$$

(6) $(-66) - (-77)$

$$\begin{aligned} (-66) - (-77) \\ &= (-66) + (+77) \\ &= +11 \end{aligned}$$

(7) $(-21) - (-19)$

$$\begin{aligned} (-21) - (-19) \\ &= (-21) + (+19) \\ &= -2 \end{aligned}$$

(8) $(-328) - (-199)$

$$\begin{aligned} (-328) - (-199) \\ &= (-328) + (+199) \\ &= -129 \end{aligned}$$